

学校配分予算の調整をしてみませんか

49回連携会議の際に、郵券代のこと少しかけ話題になりました。花川中で郵券代が不足している困っているという発言に対し、(何故不足しているのかという疑問を挟みながらも)南中から「現物を分けようか」という提案もありました。予算要望書を見ると、八幡小も郵券代が相当不足しており「PTA会費で補填している」と記述されています。花川中について言えば、消耗品費とか食料費、あるいは修繕料を減額して郵券料を増やしてもらえると助かるのですが、そういうことが可能かどうか市教委に聞いてみました。

そうすると、「これまでも役務費の増額については、柔道着のクリーニングなどの状況もあり、市教委として増額を要望しているが、最終段階付近で切られてしまう」ということと、「款項目節の予算枠の縛りがあって、市教委段階でも予算の枠組みの変更はできない」ということでした。

残された方法は、他の学校から分けてもらうという方法ですが、これは可能なようです。つまり、A校の郵券料を1万円増やしてそのかわりB校の郵券料を1万円減らす、或いはB・C・D・E校を2,500円ずつ減らすといった方法です。しかし、ただ増やしてもらっただけでは申し訳ない(というか、誰もOKしないでしょう)ので、代わりに消耗品を差し上げるということなら、どなたか検討していただけるものでしょうか。

50回会議で、この事を検討してみたいと思います。
観点は二つです。

①このような手法は、今後の学校予算にとってメリットがあるのかどうか。

ほぼ機械的に配分されていた学校予算を、学校事情に応じてメリハリを付けられるようになれば、例えば、市内でカーテンクリーニングの重点校を決めて、そこにクリーニング料を重点配分する様なことも可能になるかもしれません。そして将来的に、市の財政当局段階で、学校の要望に基づき、款項目節の比率を変えられるかもしれません。

しかし一方、現段階でこの手法をとることが、なにか問題を引き起こす可能性があるかもしれません。そこを、みんなで検討しましょう。

②やってみようとなった場合、具体的にどう進めるか。

たぶん、進め方としては、各学校(小中別)が、増やしたい予算と減らしてもよい予算を申告して、事務局が調整し、市教委に提出、市教委でそれに沿った配分をする、という手順になるかと思いますが、市教委としては、積算基礎どおりの配分にならないとしても学校の要望に添っていることで説明がつくということでした。

以上、50回会議の議案に間に合わなかったため、実践交流で意見交流したいと思います。